



K 中 通 信

学校だより 5号
平成29年7月19日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『心豊かにたくましく生きる生徒の育成をめざします』

- 学ぶことの楽しさを知り、創造的に考える力を育てます（知）
- 自他の生命を尊重し、礼儀と思いやりをもって行動する力を育てます（徳・体）
- 多様な文化を理解し、地域や社会に積極的ににかかわり貢献する力を育てます（公・開）



紫陽花の 末一色（すえひといろ）と なりにけり
～ 小林 一茶 ～

校長 星野 久美子
厳しい暑さの日が続きます。梅雨明けはもうすぐでしょうか。本校の紫陽花（あじさい）は、つぼみの頃は緑色であったものが白に変わり、水色からだんだん色が濃くなり、現在は青色です。最期は一色だけになって散っていくというこの句は、時間の移ろいや儚さを感じさせてくれます。

三者面談が終了し、1学期も残り1日となりました。今年の夏休みは35日間です。日頃の学校生活から離れるこの期間に、自ら課題を設定し積極的に取り組むことで自己理解を深めようという目的で、本校は地域交流活動（地域でのボランティア活動）を設定しています。

そのオリエンテーションとして、7月2日にボランティアの基礎学習が実施されました。この授業は、「身近な福祉への関心を高め、また理解を深める」「思いやりの心を持ってボランティア活動に参加できるようにする」ことを目的としています。内容としては、ボランティアとはどのような活動なのかということを確認後、自分がどのようなボランティア活動を体験したかを振り返りました。その後、VTR『ともに生きるボランティア』を視聴し、ボランティアについて自分が気づいたこと、わかったことをまとめ、今後どのような活動をやってみたいかを考えました。

今年の地域交流活動は13か所で行われます。例年通り、地域の花壇の世話やお祭りの準備・出店手伝い、スポーツ交流会手伝い、各施設が募集しているボランティア活動等ですが、新しく親と子のつどいの広場が加わりました。学校では限られたメンバーの中での活動ですから比較的コミュニケーションを取りやすいのですが、学校外のような体験の場では、まず周囲の人たちとコミュニケーションをとる必要が生じます。教えられたマニュアルだけでなく臨機応変の対応が必要であれば、自分で考え主体的に行動しなければなりません。TPOに応じた振る舞いももちろん要求されます。

地域交流活動のように地域の人たちと混ざり合う体験を通し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働することで子どもたちは豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を身につけます。先生方も生徒たちと一緒に地域交流活動に参加します。学校・家庭・地域が『よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る』という理念を共有し、顔の見える関係で連携して次の社会を担う子どもを育てていきたいと考えます。

K中生、頑張っています！！

6月22日よこはま国際スピーチコンテスト西区予選では、本校3年生の小林南瑠さんと丸谷萌瑛さんが参加し、小林さんが見事西区代表に選出されました。本選は、7月26日に行われます。

5月17日横浜市中学校総合体育大会開会式が行われ、各部ともに3年生の最後の夏の大会が始まりました。今までの練習は決して平坦なものではなく様々な苦労があったことと思いますが、どの選手も最後まであきらめずに取り組む姿はたいへん清々しいものです。子どもたちに多くの応援をいただきましたこととお礼申し上げます。（試合結果は、学校だより9月号に掲載します。）